

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 131-02-02

事務事業名		道路管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	対策に必要な道路とその利用者					
	目的 (どうしたいか)	生活基盤である道路の安全性の確保を図る。					
	手段 (事業内容)	道路舗装:道路構造物の老朽化や破損に対し、修繕・応急工事を実施する。 道路修繕工事:道路舗装・安全柵・側溝・集水枡等の小規模な破損の修繕。 応急工事 :道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に伴う危険箇所の早急な補修。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	124,796	110,674	105,168
決算額	事業費	102,087	122,010	-
	特定財源等	28,505	3,600	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

<p><b>【事業費】</b>                  植栽管理工事費:5,868千円                  道路清掃委託料:5,633千円                  道路管理委託料:1,069千円                  修繕費:33,498千円                  道路舗装工事費:62,902千円                  道路改良工事費:12,900千円 他</p> <p><b>【特定財源】</b>                  社会資本整備総合交付金                  嘗田碓井線 3,300千円                  恵我之荘69号線 300千円                  計 3,600千円</p>
--

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	140	140	140	
実績	138	137	-	

≪事業の参考数値等≫

道路舗装工事:18件 道路改良工事:13件 修繕:137件
-------------------------------------

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	箇所	
指標の説明	修繕を施工した箇所数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	140	140	140	
実績	138	137	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市民が道路を安心・安全・快適にできるように、より充実して継続していく。 また、予算及び職員数減少により、きめ細やかな市民サービスが低下していく恐れがあるため、道路施設の点検及び管理委託、道路工事予算について重大事故防止に向け拡充する必要がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

# 令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 131-02-03

事務事業名		橋梁維持補修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2213	
担当部署名		道路公園課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	3	道路・交通		項	2	道路橋梁費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		目	3	橋梁維持費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	当課が認定・管理する道路に架かる全ての橋梁					
	目的 (どうしたいか)	施設の老朽化や損傷が進んでいるため、長寿命化対策を実施するとともに、適切な維持管理を継続的に行い、地域の安全・安心を確保する。					
	手段 (事業内容)	対処型の維持管理から、「傷みが小さい時から計画的に補修する」予防保全型の維持管理に移行する ・平成26年に道路法施行規則が改正され、5年毎の定期点検が義務化される。 ・平成29年度に定期点検を実施し、平成30年度はこの結果に基づき、全98橋の橋梁長寿命化修繕計画の更新を行うとともに、計画的に修繕設計や修繕工事等を実施した。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	<b>【事業費】</b> 修繕設計委託料 15,907千円 長寿命化計画策定(点検)委託料 18,329千円 修繕工事請負費 28,708千円  <b>【特定財源】</b> 道路局所管補助金 33,816千円	
当初予算額	事業費	73,840	30,500	93,329		
決算額	事業費	73,311	62,944	-		
	特定財源等	21,725	33,816	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	橋梁長寿命化事業の実施	単位	式	
指標の説明	橋梁に係る修繕設計、補修工事の施工等維持管理事業			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	補修工事が完了した橋梁数	単位	件	
指標の説明	補修工事が完了した橋梁数(累計) ※全98橋			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	19	21	22	
実績	18	21	-	

≪事業の参考数値等≫		
	修繕設計	修繕工事
H25年度	0橋	2橋
H26年度	2橋	2橋
H27年度	6橋	4橋
H28年度	6橋	7橋
H29年度	9橋	7橋
H30年度	15橋	9橋
R01年度	19橋	13橋
R02年度	23橋	18橋
R03年度	29橋	21橋
R04年度(予定)	32橋	22橋

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
			<b>A</b>

総合評価	<b>現状維持</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
道路は市民生活をさせる最も基本的な社会基盤であり、経済の発展や産業の育成に深く関わり、膨大な交通需要に対応するとともに、災害時におけるライフラインとして重要な役割を担っています。その中でも橋梁は、道路法の改正により定期的な点検が義務化され、維持管理の強化が図られているところであり、当市の橋梁は高度経済成長期時に架設されたものが多数を占めることから老朽化対策が求められています。 課題:維持管理費の増大が懸念され、予算の確保が厳しい状況にあります。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
今後:安全で安心な道路インフラを実現するため、計画的かつ継続的に維持管理を行う必要があります。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 132-01-02

事務事業名		恵我之荘市営駐輪場管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化		項	1	総務管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	通勤・通学など日常的な自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	街の美観と良好な生活環境を維持するため、自転車等の利用者が安全かつ快適に駐輪できるスペースを確保し、放置自転車等の発生を防ぐことを目的とする。					
	手段 (事業内容)	シルバー人材センターに自転車置場の管理運営を委託している。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	<b>【事業費】</b> シルバー人材センター委託料 6,282千円 財産区財産使用料 689千円  <b>【特定財源】</b> 恵我之荘自転車置場使用料 1,507千円	
当初予算額	事業費	7,187	7,162	6,406		
決算額	事業費	7,151	6,971	-		
	特定財源等	1,815	1,507	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	営業日数	単位	日	
指標の説明	1年間で駐輪場を営業した日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		269	269	272
実績		269	274	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	自転車等の利用件数	単位	台	
指標の説明	自転車置場定期申込み及び一時預かり(日数換算)台数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,500	2,500	2,000
実績		1,322	1,101	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	<b>改善して継続</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
事業を開始して以降、周辺での民間駐輪場の新設等により、利用者数は減少傾向にありますが、放置自転車の防止効果等により、駅周辺での道路交通環境、生活環境の悪化の抑制を図るため、継続して事業を行う必要があります。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
利用者数は減少傾向にあり、駐輪場利用者の増加を図るため、宣伝活動を展開する必要がある。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 132-01-03

事務事業名		市道恵我之荘69号線整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2213	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化		項	2	道路橋梁費
					目	2	道路舗装改良事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	周辺住民					
	目的 (どうしたいか)	通勤・通学者の安全性の向上					
	手段 (事業内容)	住宅密集地区内の狭い生活道路を迂回するバイパス路を新しく整備し、通過車両を誘導することにより、駅へのアクセスや、通学児童等の安全性の向上を図る。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 不動産鑑定手数料 221千円 先行取得用地費買戻し 1,073千円	
当初予算額	事業費	25,019	3,073	1,000		
決算額	事業費	1,193	1,294	-		
	特定財源等	100	300	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	境界確定業務の実施(委託)	単位	件	
指標の説明	境界確定業務の委託発注件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	-	1	0	
実績	1	0	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	境界確定進捗率	単位	%	
指標の説明	予定していた筆数に対して、境界確定が終了した割合			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	-	-	-	
実績	-	-	-	

≪事業の参考数値等≫  
地権者との用地買収交渉の結果、理解が得られず境界確定に至らなかった。

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	<b>休止・廃止</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
恵我之荘69号線整備の大部分の用地を占める地権者との用地買収交渉の結果、理解が得られず継続することは難しい。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 133-01-03

事務事業名		交通安全啓発活動事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	1	総務管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	市民の交通安全に対する意識と交通マナーの向上を図る。					
	手段 (事業内容)	藤井寺市、羽曳野警察署、羽曳野・藤井寺交通安全協会、関係団体等と協働し春・秋の全国交通安全運動期間等において、「交通安全市民大会」、「交通安全運転講習会」、「交通安全街頭キャンペーン」、「めいわく駐車対策キャンペーン」などの啓発イベントを実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 羽曳野・藤井寺安全協会 補助金 200千円 羽曳野・藤井寺市駐車問題協議会 補助金 50千円	
当初予算額	事業費	495	378	241		
決算額	事業費	458	250	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	交通安全啓発事業の開催件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野警察署管内における交通安全市民大会(表彰式)・講習会・キャンペーン等の開催件数(市参加)【期間:1/1~12/31】			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		15	15	14
実績		5	0	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	交通事故発生件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野市内における交通事故(死亡事故・重傷事故・軽傷事故)発生件数【期間:1/1~12/31】			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		0	0	0
実績		285	277	-

≪事業の参考数値等≫

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本市は、「交通安全宣言都市」として、積極的に交通安全に取り組み、交通事故の無い明るい社会を実現するため、警察、交通安全協会、関係団体等と協働し、交通安全啓発活動を進めていく必要があります。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、交通安全啓発啓発活動を実施する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 133-01-04

事務事業名		放置自転車対策事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2211	
担当部署名		道路公園課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	2	総務費
	施策	3	道路・交通		項	1	総務管理費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	駅周辺道路等における自転車等の駐車秩序を確立することにより、自転車等の放置による生活環境の悪化を防止し、災害時の緊急避難路や歩行者の安全の確保及び通行機能の保持を図ることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市条例に基づき市内5駅の周辺において『自転車等放置禁止区域』を設け、放置されている自転車等の撤去、保管や、放置者に対する街頭指導を行う。</li> <li>保管した自転車等について、利用者又は所有者に返還を行う。</li> <li>自転車等放置禁止区域の周知を目的とした路面標示材の整備及び補修を行う。</li> </ul>					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	<b>【事業費】</b> シルバー人材センター委託料 (放置自転車撤去業務) 7,682千円 シルバー人材センター委託料 (街頭指導業務) 5,700千円  <b>【特定財源】</b> 植生撤去自転車置場使用料 195千円 放置自転車撤去手数料 77千円	
当初予算額	事業費	15,609	15,836	13,916		
決算額	事業費	14,434	13,529	-		
	特定財源等	136	272	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	撤去台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の総台数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		200	150	400
実績		190	283	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	返還台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の返還台数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		200	100	250
実績		70	173	-

≪事業の参考数値等≫	
自転車等の返還率	
平成28年度	221/524 42.2%
平成29年度	262/479 54.7%
平成30年度	255/400 63.8%
令和01年度	151/320 47.2%
令和02年度	70/190 36.8%
令和03年度	173/283 61.1%

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
事業開始当初と比べ放置自転車の台数は大幅に減少しているが、近年では横ばいの状態であり、一定数の放置自転車等が存在する状況にある。自転車等利用者への街頭指導とあわせて、「交通ルール徹底」や「交通マナーの向上」の啓発活動の推進が必要です。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、撤去台数が増加傾向にあり、自転車等による通勤・通学の需要は高まっており、引き続き実施を行う必要があります。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 142-01-01

事務事業名		公園管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実		項	4	都市計画費
対象 (誰を・何を)	公園利用者						
目的 (どうしたいか)	市民が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。						
手段 (事業内容)	・公園、緑地の定期安全点検 ・日常清掃、公衆トイレ等の管理委託 ・老朽化による施設や遊具の修繕補修 ・公園、緑地内の植栽の剪定や灌水、芝生の刈り込み ・病害虫の駆除等の管理作業 ・公園駐車場の運営						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	<b>【事業費】</b> シルバー委託料:11,357千円 修繕費:11,994千円 害虫駆除手数料:7千円 樹木処分費:3,178千円 植栽管理工事費:22,720千円 原材料費:135千円	
当初予算額	事業費	50,929	51,604	54,835		
決算額	事業費	49,112	49,388	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	66	83	-

≪事業の参考数値等≫

修繕件数:83件 害虫駆除件数:2件 樹木処分件数:29件 原材料購入件数:7件
---

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	件
指標の説明	公園を安全安心に利用してもらうことにつながる。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	66	83	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
今後、公園施設の経年による老朽化により増加が予想される維持管理経費については危惧を持っているところであるが、市民との協働や職員による修繕対応範囲の拡大等によるコストの抑制など、より一層の効率性を追求するとともに、高齢者や障害者等の社会的弱者に対応できるようなバリアフリー化や遊具・施設の点検、修繕箇所の迅速な対応強化など、利用者の利便性、安全面の確保に努める。なお、身近な公園については、地域ニーズを充分に反映した市民参画による管理運営を検討する。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)